

UnivaPayPlugin 導入について

前提

本プラグインをご利用いただくには WooCommerce プラグインと Univapay 管理画面双方の設定が必要となります。

導入手順について

1、Univapay 管理画面でのアプリトークンの作成

(1) Univapay 管理画面へのログイン

ログイン画面より UPC から通知されたアカウント情報を入力しログインしてください。

URL : <https://merchant.univapay.com/>

(2) アプリトークンの作成

アプリトークンとは、決済を行う際の認証キーの様な役割を果たします。

全ての決済に対しアプリトークンは必須です。下記 URL より PDF をダウンロード頂き手順に沿ってアプリトークンを作成下さい。

URL : https://link.upc-app.com/application_token.pdf

2、WordPress での設定

(1) プラグインアップロード

プラグインディレクトリより「UnivaPay for WooCommerce」を検索してインストール

(2) プラグインの有効化

プラグインに「UnivaPay for WooCommerce」が表示されるので有効にする。

(3) WooCommerce の設定

WooCommerce⇒設定⇒決済と進み、「Univapay Gateway」を有効にする。

管理ボタン押下頂き、

「トークン」「シークレット」欄に Univapay 管理画面で発行したアプリトークンの、

「トークン」「シークレット」を入力下さい。※本番モード、テストモードにご注意ください。

有効/無効の設定を行ってください。

「常時 capture を取る」有効=仮実同時で決済されます。

「常時 capture を取る」無効=オーソリ処理のみ行い後に手動で実売り処理を行います。

クレジットカード決済とその他決済をご契約の場合はフォーム URL を入力して下さい。

appId より前の URL を入力してください。

フォーム URL の場所に関しましては Univapay 管理画面内の、

店舗⇒店舗名から店舗選択⇒決済フォーム⇒リンクフォーム設定⇒URL コード

表示された URL の「?appId」より前の URL が入力する URL です。

なお入力の際はリンクフォーム設定の決済方法のクレジットカードを外してください。

クレジットカード決済のみご契約いただいている場合、フォーム URL の入力は不要です。

全ての設定が完了しましたら「変更を保存」をクリックして下さい。

3、その他

(1) WooCommerce のステータスと決済ステータスについて

◆「常時 capture を取る」有効（仮実同時）の場合

- ・処理中

決済処理が完了した状態です。(Univapay 管理画面側は成功となります)

- ・支払い待ち

決済処理に失敗した状態です。(Univapay 管理画面側は失敗となります)

◆「常時 capture を取る」無効（オーソリ対応）の場合

- ・保留/処理中/支払い待ち から選択

オーソリ処理が完了した状態です。(Univapay 管理画面側はオーソライズ済みとなります)

- ・支払い待ち

決済処理に失敗した状態です。(Univapay 管理画面側は失敗となります)

※実売り処理を行う場合は、WooCommerce⇒注文⇒該当の注文より

Univapay ステータスの「キャプチャ」をクリックして下さい。

(2) 決済情報について

注文情報のカスタムフィールド内「univapay_charge_id」が Univapay 管理画面の課金 ID となります。

(3) 決済の取消について

取消は Univapay 管理画面の「決済」メニューから処理出来ます。

「univapay_charge_id」で対象の決済を検索→画面下部の「返金」クリック→理由、

メモ記入後「返金」ボタン押下で完了

WooCommerce とは連動はしておりませんので、WooCommerce 側も手動でステータスの変更をしてください。